

円借款案件事後評価報告書

(1993年度の評価概要)



THE OVERSEAS ECONOMIC COOPERATION FUND

はじめに

海外経済協力基金（OE C F）は、わが国の政府開発援助（O D A）の約半分を担当する資金協力の実施機関として、多数の開発途上国が取り組むさまざまな開発事業を支援してきました。

この間の融資規模の拡大に対応して、OE C Fは、融資した開発事業の事後評価・事後監理を行う体制についても順次整備してきましたが、昨年10月、「開発援助研究所」を新たに設立するにあたって、事後評価の機能も統合した形で調査研究を推進することにしました。

当研究所における事後評価は、引き続き個別事業の効果等について調査する他、各種の評価経験を活かして、研究所の他のグループと協力するなどにより、各セクターの政策のありかたや途上国の実施機関の組織発展の問題等、開発に係わる広範な課題を掘り下げることにより、持続的な効果をもたらす質の高い開発援助に役立てていくことを目的にしています。

本報告書は1991年度以来第4冊目となりますが、当研究所の調査研究活動の一端をご紹介する観点から、従来よりもさらに掲載内容を充実すべく努めました。評価報告の内容は、相手国の協力の下、当研究所スタッフ他が現地調査を行った上で、当研究所において取りまとめたものです。なお、文中、意見にわたる部分については、当該事業の一層の効果発現、あるいは将来の類似事業のより効果的効率的な実施のために、調査分析を担当した執筆者の見解を述べたものであることをお断りしておきます。

最後に、OE C Fの研究調査活動に対する関係各位の日頃のご支援ご協力に心より感謝申し上げますとともに、今後とも引き続き、より質の高い評価・援助とするためのご示唆、ご意見をいただければ幸いに存じます。

開発援助研究所 所長

山 本 海 徳